

## 平成 17 年度当初予算 施策別概要

### 5 4 1 快適な都市環境の整備

(主担当部局：県土整備部)

54101	計画的なまちづくりの推進	(県土整備部)
54102	安全で快適なまちづくり	(県土整備部)
54103	清潔で快適な都市環境づくり	(県土整備部)
54104	潤いある都市空間の整備	(県土整備部)
54105	ユニバーサルデザインの まちづくりへの整備	(健康福祉部)

#### < 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 快適で、自然環境と調和した魅力あるまちで、安心して暮らしている

#### < 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
快適な都市空間の 面積 (千㎡)	目標値	-	46,742	49,633	52,275
	実績値	44,778	48,404		

幅の広い歩道、下水道供用区域内の住宅床面積、都市公園、バリアフリー化された公共施設などが整備された空間面積の合計

#### < 平成 17 年度に残っている課題 >

都市計画区域外における無秩序な土地利用を是正するため、6 つの都市計画区域の見直しを引き続き推進していく必要があります。また、市町村合併に伴う都市計画区域のあり方の検討について、合併市との協議を進めていく必要があります。

街路事業については、厳しい財政状況のなか、緊急に整備する必要のある個所への重点投資を行い、事業効果の早期発現に努める必要があります。

本県の下水道普及率は、平成 15 年度末で 33.9%と全国平均の 66.7%に比較して極めて低い状況にあることから、県が実施する流域下水道事業と市町村が実施する公共下水道事業とが連携しながら効率的・効果的に整備を進め、清潔で快適な都市環境づくりに努める必要があります。都市公園事業については、整備個所の重点化を進め早期の事業効果を図ることにより、利用者のニーズに応えることが課題です。また、国営木曽三川公園については、カルチャービレッジの整備促進や七里の渡地区の都市計画決定を進める必要があります。

多くの県民が利用する施設で新たに設置されるものについては、条例の整備基準等によりユニバーサルデザインによる設計となりますが、既存施設の改修についてはあまり進まないことから関係者に働きかけるとともに、面的整備など移動の連続性を確保した整備を地域と協働して進めていくことが課題です。

#### < 平成 17 年度の施策の取組方向 >

計画的なまちづくりを推進し、都市の健全な発展を図るため、6 つの都市計画区域の見直しを進めていきます。また、都市計画法、建築基準法の適正な運用を行い、計画的なまちづくりを進めます。

街路事業については、新道路整備戦略に基づき、緊急性や事業効果を勘案しつつ、鉄道との立体交差化や緊急輸送道路の整備に引き続き重点的に取り組めます。

流域下水道事業については、宮川処理区の平成18年早期の供用開始と志登茂川処理区の平成17年度処理場工事着手に向けて重点的に取り組むとともに、北部、南部、雲出川左岸及び松阪の各処理区において、処理場の増設と幹線管渠の延伸を進めていきます。公共下水道事業については、下水道普及率ジャンプアップ事業補助金等の県費補助制度により市町村の支援を行い下水道普及率の向上を図ります。

都市公園については、潤いのある都市空間の確保とともに、災害時には避難場所あるいは防災拠点としての機能を確保します。また、維持管理については、地域住民等とも協働して適切に行います。

条例及びハートビル法に基づき、商業施設など不特定多数の人々が利用する公共的施設について、整備基準等の周知徹底を図るとともに、駅舎のバリアフリー化に対し支援を行います。また、市町村が行う面的整備のための計画策定や既存施設の改修についても支援を行います。

#### <主な事業>

都市計画策定事業費【基本事業名：54101 計画的なまちづくりの推進】

当初予算額： 28,167千円 8,674千円

事業概要：市町村合併に伴う都市計画区域の見直しなどの検討を進めます。また、東海環状自動車道の都市計画や環境アセスメントの手続きを行います。

(一部重) 街路事業【基本事業名：54102 安全で快適なまちづくり】

当初予算額： 2,892,000千円 2,670,000千円

事業概要：交通の円滑化や防災機能の強化などを図るため、市街地の都市計画決定された道路を整備します。

流域下水道（建設）事業【基本事業名 54103 清潔で快適な都市環境づくり】

当初予算額： 16,479,300千円 16,225,570千円

事業概要：生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図るため、流域下水道の整備を推進します。

国補公園事業【基本事業名：54104 潤いある都市空間の整備】

当初予算額： 820,000千円 702,000千円

事業概要：北勢中央公園、熊野灘臨海公園の県営2公園の整備により、成果目標である開園面積の増加を図ります。

UDのまちづくり整備推進事業【基本事業名 54105 エレベーター等のまちづくりへの整備】

当初予算額： 4,417千円 57,255千円（県費、国費）

事業概要：地方公共団体が所管する公共施設におけるエレベーターやスロープの設置、玄関の自動ドア化などを進めます。